

伊那市

社会教育委員 だより



▲「社会教育委員発！我がまちいいとこ10選」視察研修：西春近諏訪形 猪垣史跡

TOPIX

- 令和2年4月22日 第1回定例会（伊那市役所）を開催しました。
- 令和2年7月1日 諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会（岡谷市カルチャーセンター）に参加しました。
- 令和2年8月19日 第2回臨時会（伊那市役所）を開催しました。
（会議後、社会教育委員発！我がまちいいとこ10選研修視察4か所）
- 令和2年8月27日 地域ぐるみで子どもを育てるフォーラム（諏訪市文化センター）に参加しました。
- 令和2年11月26日 第3回臨時会（伊那市役所）を開催しました。
（伊那市教育委員との懇談会）
（会議前、社会教育委員発！我がまちいいとこ10選研修視察3か所）

※今年には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの研修会等が中止になりました。



伊那市生涯学習基本理念

—共に学び、今に生かし、更に深め、未来へとつなぐ—

令和2年度第1回社会教育委員会議（定例会）を、令和2年4月22日（水）に伊那市役所で開催しました。

会議では、委員の委嘱のほか、本年度の事業の取組の方針について協議しました。

委員に任命された10名を紹介します。

中村 幸子 会長（富県地区）
寺田 利男 副会長（高遠町地区）
酒井 照明 委員（伊那地区）
黒河内 あけみ 委員（美篤地区）
宮原 晴美 委員（手良地区）
高見 さゆり 委員（東春近地区）
茅原 紘 委員（西箕輪地区）
太田 伸 委員（西春近地区）
山崎 恭子 委員（高遠町地区）
中山 恵理 委員（長谷地区）

（任期：令和2年4月～令和4年3月まで）

委員さんからひとこと

今回は、新たに会長に就任した中村委員さん、新任の酒井委員さんから、ひとこといただきました。

中村 幸子（富県地区；会長）

4期目の本年度、経験豊富な委員の皆様方のご協力を賜り、会長を務めさせていただきこととなり、間もなく1年を終えようとしています。この1年を振り返ってみます時、年明けから、私達がこれまで経験したことの無い新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された日々であり、異例づくめの激動の1年となりました。小中学校の休校や地域でのイベントも全て中止となりました。これまで地域住民の皆様生涯学習の拠点である公民館活動も中止を余儀なくされましたが、学校や公民館活動も再開され、文化祭の開催や、各種講座も再開され嬉しく思っています。

しかし、冬の訪れと共に日本全土にウイルスは感染拡大を続け、再び各種イベントの中止や延期となってしまいました。社会教育委員の皆様も、これまで全委員で他市町村の活動を学ばせていただくと共に、交流を通じての学びを、委員それぞれが地域活動に反映して参りましたが、本年度は全委員での研修の機会は叶いませんでした。

しかし、委員の皆様推薦の「我がまちのいいところ10選」は例年どおり実施でき、市内の歴史や文化を学ばせていただく機会を得ましたことは幸いであったと思っています。

今後も、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、公民館活動や学校、地域に足を運び、見て聞いて学び、委員の皆様と話題を共有しながら「実践する社会教育」を目指して参りたいと思っています。

酒井 照明（伊那地区）

20年以上も前の学校現場で、私の恩師（後のK市教育長）から「酒井君、これからは生涯学習の時代だよ」と言われた。学校教育が一番だと思っていた私には、この言葉の意味が理解できなかった。

時が流れ、区の役として関わった地域のイベント、「おいで塾」をはじめとし公民館等の様々な活動を通して、子どもから高齢者までと触れ合い、学校現場とは違った生き生きとした姿を見取れた。

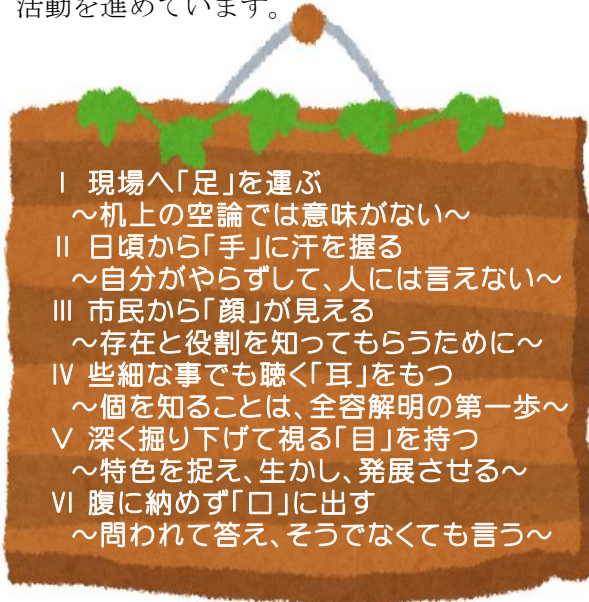
さて、社会教育委員1年目。原垣外遺跡^{*}見学・インドシルク等のイベント参加・市いいところ10選・第2次生涯学習基本構想等から市の歴史、文化まさに宝物に触れ、学び、再発見し、感動する。ようやく、恩師の言われた言葉の本質に少しでも近づけた思いである。

（※「原垣外遺跡」の名称は、令和2年12月23日付で、地域に親しみのある「勸前遺跡」に変更となりました。）



社会教育委員 実践活動の取組

伊那市社会教育委員は、「社会教育委員による実践活動の取組」の6つの柱に沿って、活動を進めています。



「足」を運ぶ活動 イベント等参加報告

生涯学習関係イベントに参加して、感想や良かった点、問題点や課題などを報告書にまとめ、社会教育委員会会議において発表し、情報を共有しています。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのイベントが中止や延期になりましたが、その中でも開催されたイベント等に積極的に足を運びました。

報告の中からいくつかご紹介します。

○伊那市創造館企画展「蕎麦は正義」

「蕎麦は正義」というタイトルにまず驚かされた。伊那は「信州そば発祥の地」ということは知っていたが、この企画展を通して、納得することができた。そば打ちの映像、そば打ちの各種用具や歴史的な資料の展示を通して、特に高遠そばの由来、保科正之公と会津若松との関係性について詳しく知ることができた。

○高遠町歴史博物館特別展「ふるさとごはんの300年」

江戸時代の食事の様子的一端を感じることができました。

現代にもつながるメニューの数々、西洋化という大きな時代の変化にもかかわらず、伝統の深さを感じます。

再現料理を試食された学芸員の、減塩なるも出汁が効いており美味しかったとの話に、展示を見るだけでは分からないことも知れ、良かったです。塩が貴重だった時代背景か、昔も健康に気を使って食事しているのか考えさせられました。

○高遠町歴史博物館特別展「出征兵士と家族の肖像展」

出征を前に緊張した面持ちの若者と父母、祖父母、兄弟といった人々の複雑なそれぞれの表情が見て取れた。

また、当時の町や店舗、役場と思える建物、座敷のある家、庭等親近感を持って見られ、過去の歴史の中の戦争が身近に感じられた。

展示し、共有することで、平和への願いが再認識され、文化伝承につながっていくのではと思う。



○宇宙の学校第1回

今年度は、コロナの影響で中止かと思っておりましたが、「星と宇宙の教室」という名前で開催されました。久しぶりに元気な子どもたちに会えてよかったです。

教材もシンプルで楽しく作っていました。フィルムケースでロケットを作り、入浴剤と水を使って飛ばすもので、子どもたちはいつ飛ぶかジッと見つめ、飛んだ瞬間目を輝かせていて素晴らしかったです。



○伊那市歴史シンポジウム 原垣外遺跡※

現地説明会 (※…P.2参照)

学芸員のすばらしい説明で、一気に縄文時代、奈良時代、平安時代にタイムスリップした感が強くいたしました。住居跡からは土器や陶器、鉄製の矢尻等が出土、かまど跡もはっきり確認出来て、当時の住民の生活ぶりをロマンチックに想像することができました。

宅地造成後も何らかの形で発掘調査の結果を生かす工夫をしていくとの説明があり、是非実現することを期待したいと思います。



我がまちのいいところ10選研修視察

深く掘り下げて見る「目」を持つ活動、また、現場へ「足」を運ぶ活動として、各委員が地元の自然、歴史、文化などを推薦し、現地への視察研修を行っています。推薦した委員自身が講師となり、現地を案内します。

普段見慣れた景色や建物が、現地で解説を聞くことで「改めて分かった」との声も上がりました。

○高遠石工 (花文字道祖神)



諏訪と高遠を結ぶ杖突街道沿いには、農村風景に溶け込むように多くの石仏があるのが目に入ります。そのほとんどが集落の入口(村境)にまとまっており、馬頭観音、庚申塔、道祖神など様々な石仏が見られます。

これらは、災厄が村に入ってこないように、また子孫繁栄や旅の安全などを願って、江戸時代から今日まで長年にわたって受け継がれてきた民間信仰の証です。

花文字道祖神は、杖突街道の入口にあります。三匹の猿と見られる顔が、それぞれの文字の中に描かれた、遊び心にあふれる道祖神です。(伊那市高遠町)

○伊那市創造館企画展「インドシルクー手しごと伊那谷の未来ー」

創造館の企画展としては有料の展示会でコロナ禍も加わり、入場者の数が懸念されましたが、講演会があるためか、私が予想していたよりも入場者がありました。

巻衣装(サリー)を中心とした展示となっていました。デザイン性、刺繍、絞り染め、何もかも素晴らしいものでした。

また、JICAでインド北部の養蚕農家をサポートするために派遣された飯田氏の実践と伊那谷の養蚕に触れての講演会も、40名程参加されて好評でした。

○伊那市人権同和講座講演会

「へこたれへん～人はきつとつながれる～」三重県人権教育啓発研究会代表の松村智広氏の話術にまず驚く。流ちょうな関西弁の語り口調は小気味よく、聞く人の心をつかんで離さない。なんとM1グランプリにも出演したとか。さすがである。

差別は同和地区、障害者に対し今も消えない。その現状には心痛む。そんなはずはないとはっきり言いきれない。人間の性なんだろうかと悔しく思う。人と人とのつながりの大切さを教えられた。



○諏訪形の猪垣



江戸時代、イノシシやシカなどによる農作物への被害を防ぐために、藤沢川から大田切川に至る標高700mの地域に作られた柵です。諏訪形地区では、この猪垣を古文書などから復元し、野生生物による農作物被害が深刻化する中、歴史ある施設を学習の場として活用していく取組が、地域の方々によって実施されています。（伊那市西春近）

○下牧川原（ミヤマシジミと共に）



ミヤマシジミは、環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠB類に指定されています。河原には、幼虫の唯一の食草であるマメ科の落葉小低木コマツナギが群生しています。国土交通省とミヤマシジミ研究会、地域の方々が進めて保護活動を進めています。（伊那市西春近）



○仲仙寺の「千匹馬図」絵馬・伊那市考古資料館

仲仙寺は古くから馬の祈願寺の信仰があり、多くの絵馬が奉納され、巨大な額に無数の馬が描かれている「千匹馬図」絵馬など本堂外陣内に素晴らしい絵馬を見ることができます。奉納された絵馬の一部は考古資料館で展示・保管され、その中には、上伊那最古の絵馬とされる「相撲図」など貴重な絵馬もあります。（伊那市西箕輪羽広）



○高遠城址公園

高遠城址公園は、桜の名所として知られていますが、公園内には文字のない無字の碑や歌碑など他では見られない石碑、藤原鎌足を祀った藤原神社、高遠閣などの建物、国の史跡指定を受けた堀や土塁など今も残る戦国の城の縄張りなどを見ることができます。高遠城は土塁、空堀が特徴の戦国城郭として日本100名城に選ばれています。（伊那市高遠町）



馬場武志前会長が表彰されました

長年、社会教育委員としてご活躍いただきました伊那地区（狐島）の馬場武志さんに、長野県社会教育委員連絡協議会から表彰状が授与されました。令和2年9月17日（木）に行われた、長野県社会教育研究大会での表彰式は、都合によりご欠席でしたが、後日、事務局からお渡ししました。

馬場さん、3期6年にわたり伊那市の社会教育推進にご尽力いただき、ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



馬場さん
お世話になりました

第2次伊那市生涯学習基本構想策定

令和2年度は、「第1次伊那市生涯学習基本構想」計画期間の最終年度です。

「共に学び、今に生かし、更に深め、未来へとつなぐ」を基本理念に、平成23年度から10年間、生涯学習社会の実現に向けて数々の施策に取り組んできました。

この基本構想の成果を引き継ぐとともに、日々変化する社会情勢に対応するため、また「第2次伊那市総合計画」との整合性を図るため、令和3年3月までに、今後の市の生涯学習施策の方向性を定める「第2次伊那市生涯学習基本構想」を策定します。

令和2年11月26日（木）に行われた第3回社会教育委員会議では、「第2次生涯学習基本構想（案）」について教育委員との懇談を行い、提言をいただきました。



……事務局感……

コロナ禍の影響により、多くの行事が中止や延期となりました。

「〇〇教室は中止になってしまったのでしょうか」「どこかで歌える場所はありませんか？」残念に思う多くの声が届きました。

「それでも学びを止めてはいけない」との思いと、少人数で対策を取り、新たな方法で行うなど、改めて生涯学習活動を考える機会となりました。

こうした点も、新たな生涯学習基本構想に反映して策定しました。（登）



伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課
〒396-8617 伊那市新田3050番地
電話：0265-78-4111（内線2722）
FAX：0265-72-4142
Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどは
こちらへ

